

( 1 ) 実施機関名：

海上保安庁

( 2 ) 研究課題(または観測項目)名：

海域における地形・活断層調査

( 3 ) 最も関連の深い建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

( 1 ) 地震・火山現象のモニタリングシステムの高度化

イ. 地震発生・火山噴火の可能性の高い地域

( 4 ) その他関連する建議の項目：

( 5 ) 本課題の 5 か年の到達目標：

巨大地震の発生が懸念されるプレート境界域等において、海底変動地形調査等の調査を継続する。

( 6 ) 本課題の 5 か年計画の概要：

巨大地震の発生が懸念されるプレート境界域等において、海底変動地形調査等の調査を継続する。

( 7 ) 計画期間中(平成 21 年度～25 年度)の成果の概要：

南海トラフ周辺海域等において、海底地形の調査を実施した。

・平成 21 年度 菊川断層帯からその北西沖の範囲において、断層運動によって形成されたと考えられる変動地形の分布を発見した。

・平成 22 年度 西山断層帯から北西沖の範囲において、断層の活動に由来すると思われる変動地形を発見した。

・平成 23～25 年度 相模トラフ～駿河トラフ～南海トラフ周辺のアナグリフ海底地形図を作成した。これにより地形や活断層の位置・形状をより詳細に検討することが可能となった。

( 8 ) 平成 25 年度の成果に関連の深いもので、平成 25 年度に公表された主な成果物(論文・報告書等)：

( 9 ) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

海上保安庁海洋情報部海洋調査課

他機関との共同研究の有無：無

( 10 ) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名：海上保安庁海洋情報部海洋調査課

電話：03-5500-7125

e-mail：下記 URL の問い合わせフォームから問い合わせください。

URL：http://www1.kaiho.mlit.go.jp/

( 11 ) この研究課題(または観測項目)の連絡担当者

氏名：鈴木晃

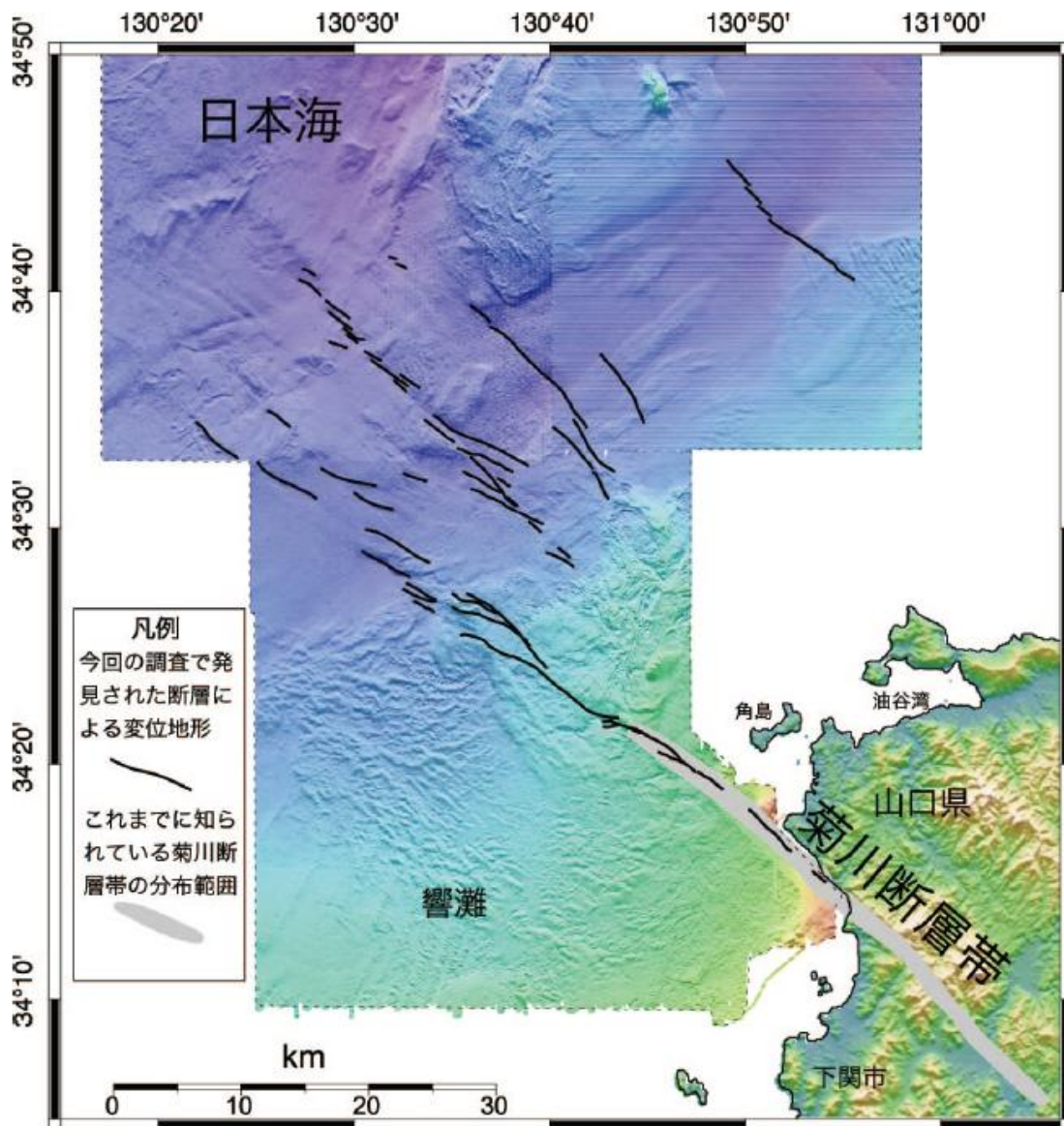


図1 山口県北西部の断層分布図

菊川断層帯の延長部分の他、その北東側にも同じ走向を持つ何条かの断層が見られる。

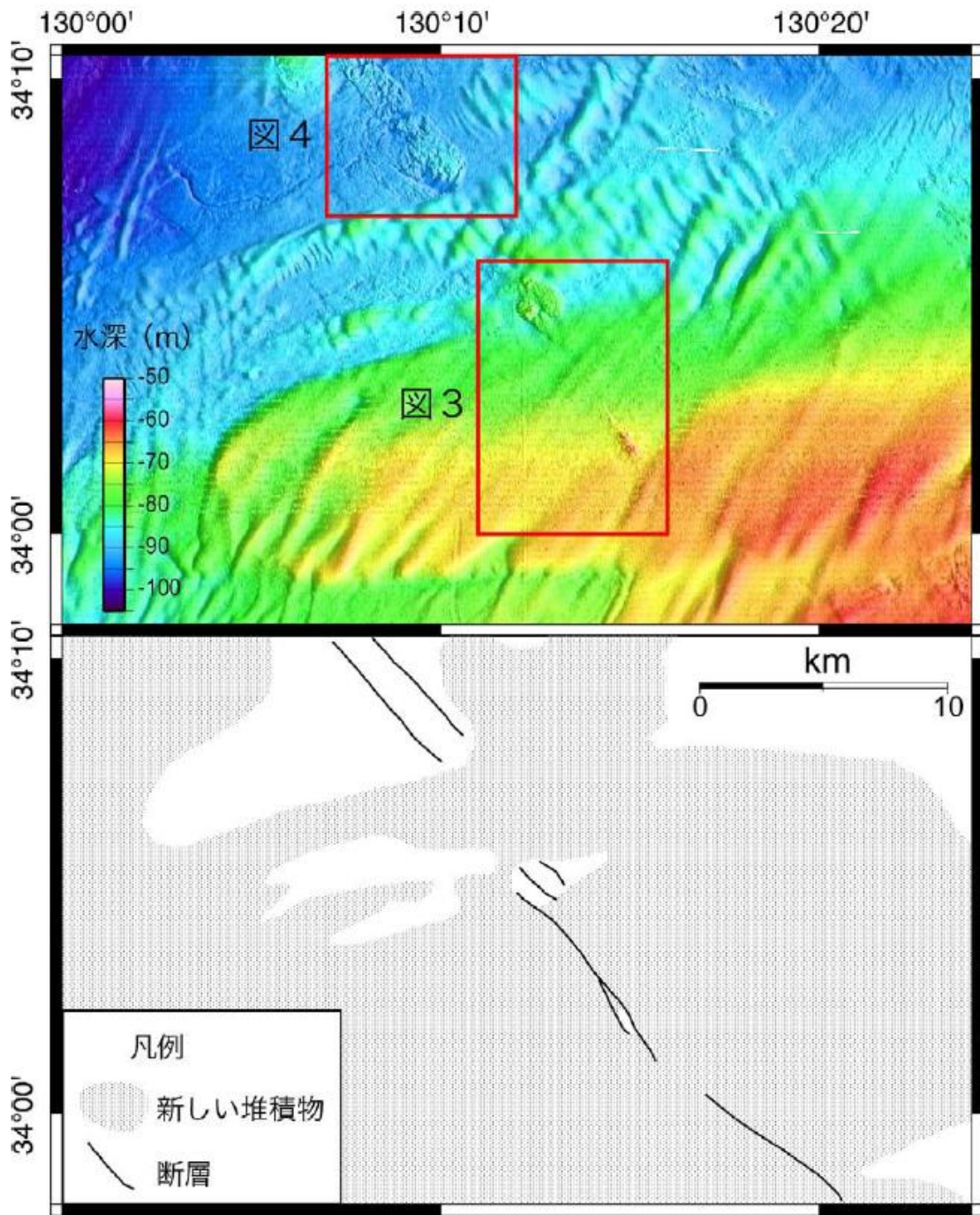


図2 福岡県北部の西山断層帯付近の海底地形図

古く固い地層の上にサンドウエーブを伴う新しく軟らかい堆積物が載っており、断層はその両方に変化を与えている。

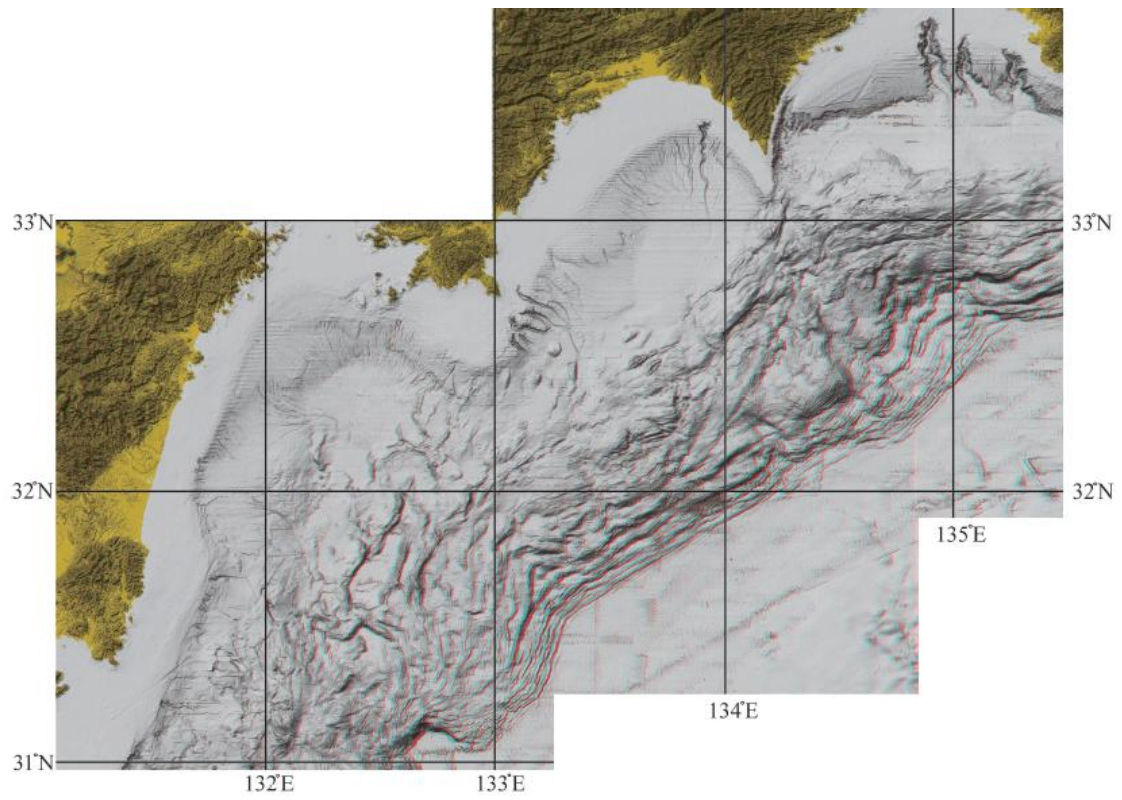


図3 日向灘～四国沖のアナグリフ海底地形図  
九州・パラオ海嶺の北端部が付加体に衝突し、構造を大きく変形させている。  
これを境に北東の日向海盆と南西の種子島沖の地形が大きく異なることがわかる。

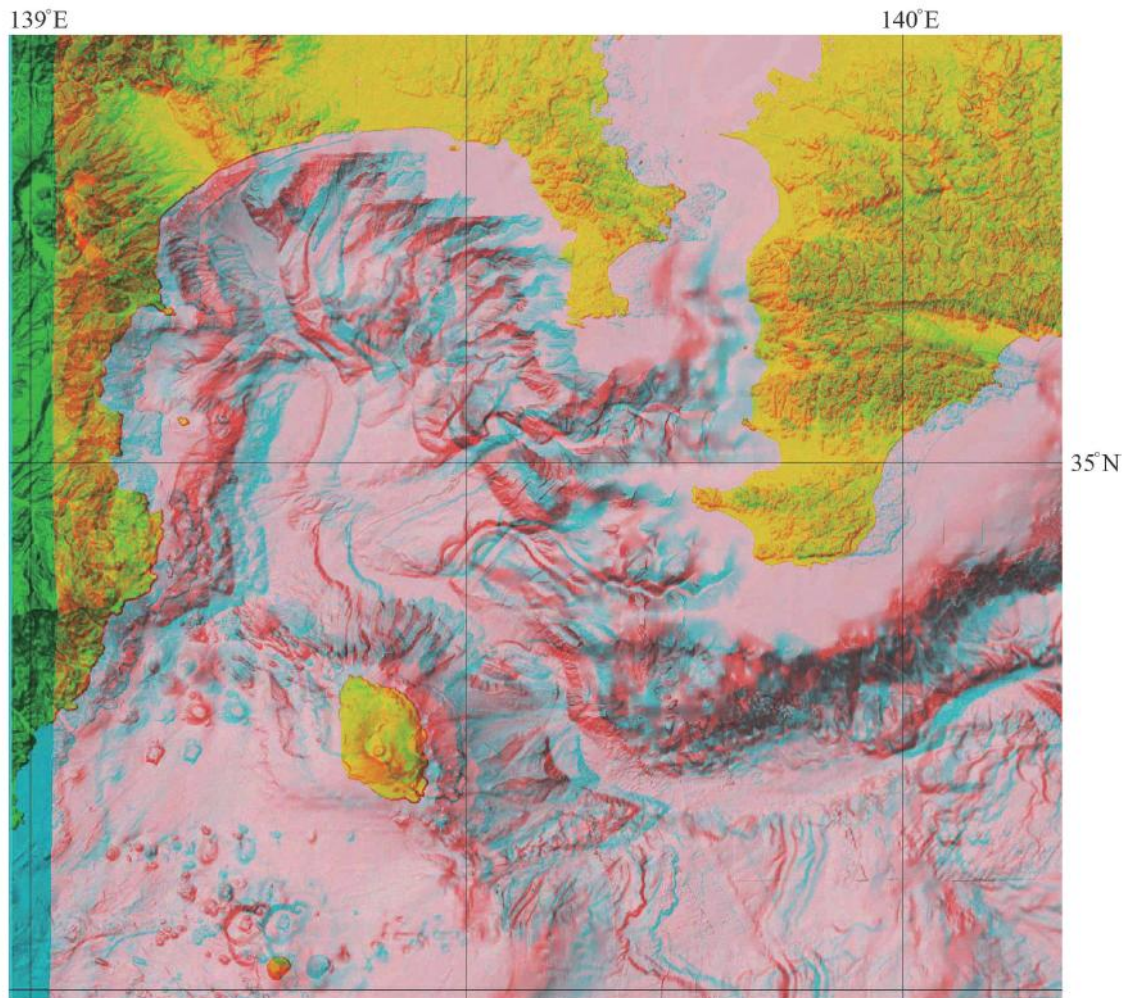


図4 相模トラフ周辺のアナグリフ海底地形図

相模湾の海底地形については、概ね 2000m 以浅の海域であるため地形解像度が高く、海底谷や変動地形が認められる。アナグリフ海底地形図を用いれば、これらの地形や活断層の位置・形状をより詳細に検討することが可能である。